

「平成29年度全国学力・学習状況調査」の結果について

【富里市立浩養小学校】

平成29年4月18日(火)に、小学校第6学年全児童、中学校第3学年全生徒を対象として、「全国学力・学習状況調査」が実施されました。本校の実施結果についてお知らせします。

1 児童が受けた調査について

「国語A・B」、「算数A・B」、「児童に対する質問紙調査」の調査が実施されました。それぞれの内容は下記のとおりです。

(1) 教科に関する調査

〔主として「知識」〕 国語A, 算数A	〔主として「活用」〕 国語B, 算数B
身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

出題範囲：調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則

(2) 児童に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

*調査問題は「国立教育政策研究所」のHPで閲覧できます。

<http://www.nier.go.jp/17chousa/17chousa.htm>

2 本校児童の調査結果

全国公立小学校の平均正答率（以下全国平均）と本校児童の状況

(1) 教科の調査結果から

国語A（知識）	基礎的な言語活動や言語事項に関する知識・技能に関する問題	B
国語B（活用）	基礎的な知識・技能を活用する問題	C
算数A（知識）	数量や図形についての基礎的・基本的な知識・技能に関する問題	B
算数B（活用）	基本的・基礎的な知識・技能を活用する問題	C

☆ 全国平均正答率との比較について

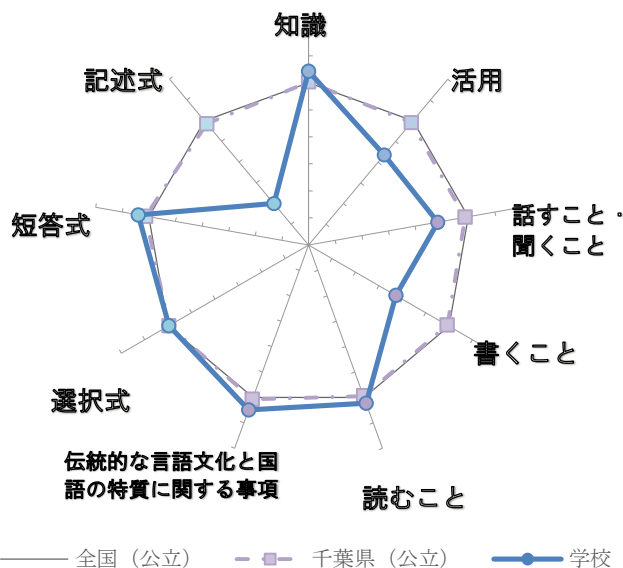
A：+5.0%より上回っている場合「良好」

B：+5.0%～-5.0%の場合「ほぼ同じ」

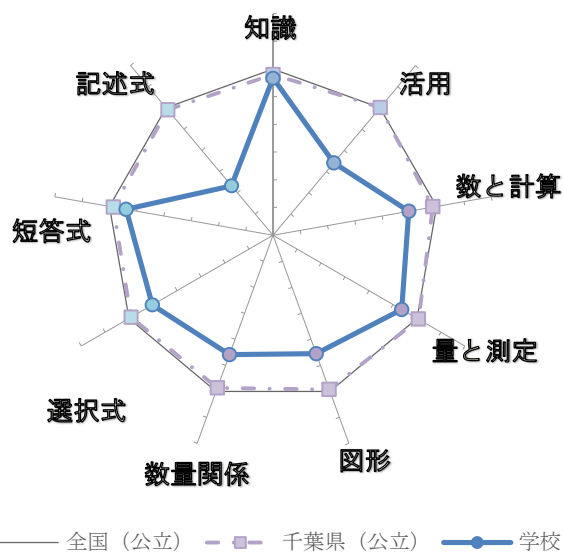
C：-5.0%より下回っている場合「要改善」

(2) レーダーチャート

<国語>



<算数>



3 結果分析

(1) 学習面について

- 国語A（知識）、算数A（知識）は、全国平均値とほぼ同じでしたが、国語B（活用）、算数B（活用）は、全国平均値を下回っていました。
- 国語A（知識）では、漢字の読み書きとことわざに関する設問が大変よくできていました。学校でのドリル学習や家庭学習の成果が出ています。また、目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読む設問では、全国平均値を上回る正答率でした。しかし、「書くこと」の領域の、手紙の構成を理解し、後付けを書く問題の正答率が低かったため、復習が必要です。
- 国語B（活用）では、「書くこと」の領域の正答率が全国平均値を下回っています。目的や意図に応じて、文章全体の構成を考えたり、必要な内容を整理して書いたりする力が不十分でした。また、記述式の問題になると正答率が低くなっています。そこで、学校では、国語科の学習に限らず、社会科や総合的な学習においても目的や意図に応じて、資料を引用したり、必要な内容を整理したりして書くことができるよう指導をまいります。
- 算数A（知識）では、「数と計算」「数量関係」の領域の正答率は、全国平均値とほぼ同じでした。基本的な計算問題はよくできていました。「みがきの時間」における計算練習などの成果が出ています。一方で、「量と測定」「図形」の領域の正答率は、全国平均値を下回っていました。高さが等しい平行四辺形と三角形の底辺と面積の関係の問題と、立方体の面と面の位置関係の問題の正答率が低かったため、学校でも復習をまいります。
- 算数B（活用）では、正答率は各領域とも全国平均値を下回っていました。記述式の設問の無解答率が高く、また、選択式の問題の中でも割合を比較するのに適したグラフを選ぶ問題の正答率が低かったです。そこで、学習活動の中で、式の数値の意味やグラフから読み取れることなどをノートに言葉や図で表現したり、友達に説明したりする活動を多く取り入れていきます。

(2) 児童質問紙調査から

- 「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか」という質問に「よく見る」「時々見る」と全員が回答したのに対し、「新聞を読んでいますか」という質問には、半数の児童が「全く読まない」と回答しました。このように回答した児童は、文章の内容を的確に捉え、自分の考えを記述する問題を苦手になっている傾向が見られました。
- 「家で、学校の宿題をしていますか」という質問に全員が「している」と回答しましたが、「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」という質問に「している」と回答した児童の割合は、全国平均を下回りました。
- 「5年生までに受けた授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか」という質問に全員が「当てはまる」と回答しました。国語Aの「話すこと・聞くこと」の正答率は、全国平均値を上回っており、このことと相関があると考えられます。学校でも、互いに考えを伝え合って学習を進めるように、学び合いの学習をさらに充実させていきます。

4 まとめ

- 今後も日頃の授業の充実に努めていくとともに、「みがきの時間」や月例テスト、『とみの国』検定を通して、漢字・計算練習などに繰り返し取り組み、基礎的・基本的な学力の定着を図っていきます。
- 互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら話し合いを進めていく力を身に付け、学び合いの学習をさらに充実させていきます。
- 教師が提示した宿題にはきちんと取り組んでいるので、今後は自主学習にも取り組んでいけるように、自主学習の進め方などについて具体的に提案し、ご家庭との連携を図りながら、進めてまいりたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
- 社会の情勢に興味・関心をもてるようにニュースを見たり、新聞を読んだりすることを推奨していきます。